

ユリヤ・シムビルスカヤ

誕生日のパーティー（「Elephant Sonny」より）

アフリカで一匹の象が生まれました。彼は眼を開いて新たな世界を知り始めます。

「それはなに？」

彼は私の母にきいた。

「バオバブだよ。」

「これはなに？」

「空よ。」

「じゃあ、空には何があるの？」

「太陽と雲があるのよ。」

「これはなに？」

「これはなに、ではなくて、誰？というのよ！ 私は鳥だよ。」

と、年寄りのマラボーは文句を言う。

「そこにはなにがありますか？」

象のゾウは止まらなかった。

「山だよ。」

母親は毛皮の上に幹をもって彼を撫でた。

「なんて大きくて美しいんだ！あなたに似ています！」

と象のゾウは叫んで、温かい母親のそばへ行った。